



第 38 回リビエラ逗子マリーナヨットレース
加山雄三 invitational 『若大将』カップ

Sailing Instructions
【クルーザーヨットレース帆走指示書】

【主催】 リビエラ逗子マリーナ 若大将カップ実行委員会
JSAF 加盟団体 外洋湘南
JSAF 加盟団体 三浦外洋セーリングクラブ

1. 適用規則

- 1-1. セーリング競技規則 2017-2020 (RRS) に定義された規則。
- 1-2. IRC ルール 2020 ただし IRC ルール 22.4.2 は適用しない。したがって乗員数、証書記載の乗員数、乗員重量の制限を設けないが、最大乗員数は船舶検査証書に記載された最大搭載人員以内とする。
- 1-3. レース公示および本帆走指示書。
- 1-4. 公示と帆走指示書の間に矛盾が生じた場合は、帆走指示書を優先する。(RRS63.7 の変更)
- 1-5. 【NP】はこの規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。(RRS60.1(a)の変更)
- 1-6. 第 38 回リビエラ逗子マリーナヨットレース感染症対策規定 2020。

2. 参加艇の責務

- 2-1. 通信手段として 1 台 (以上) の携帯電話を搭載し、その携帯番号を出艇申告書に記載し提出すること。
【DP】
- 2-2. 通信手段としての携帯電話の予備バッテリー、水密パックの搭載を強く推奨する。
- 2-3. スタートして途中リタイアする艇は、その旨をレース本部に電話で連絡すること。【DP】
- 2-4. ライフジャケットはレース参加を目的とした出港時からレースが終了して帰港時まで法令に従い着用すること。【DP】【NP】

3. 競技者への通告

若大将カップのホームページに掲載している web 公式掲示板に掲示する。
(若大将カップホームページ <https://www.riviera.co.jp/marina/event/zmc/index.html>)

4. 帆走指示書の変更

- 4-1. 帆走指示書の変更は web 公式掲示板に掲示する。
- 4-2. 海上において本部艇に L 旗を掲げて口頭で行う場合がある。

5. 陸上で発する信号

レース運営に関する信号は陸上では行わない。

6. レース日程

10月25日(日)	10:25	ハピネスクラス・オープンクラス・SWAN クラス予告信号
	10:35	IRC クラス予告信号
	15:00	全艇共通タイムリミット

7. クラス

7-1. クラス分けは、ハピネスクラス、オープンクラス、SWAN クラス、IRC クラスとする。

7-2. クラス旗の色は次の通りとする。

ハピネスクラス：イエロー、オープンクラス：ピンク、SWAN クラス：ホワイト、
IRC クラス：グリーン

7-3. 参加艇数により更に A・B クラスに分けることがある。

7-4. 参加艇は、クラス旗をバックステー付近デッキ上 1.5m 以上に掲揚すること。【DP】【NP】

8. コース

8-1. 逗子沖スタート→マーク A (右に見て通過) →マーク B (右に見て通過) →烏帽子岩沖マーク (反時計回航) →マーク B (左に見て通過) →マーク A (左に見て通過) →逗子沖フィニッシュ

8-2. スタートのおおよその位置は 35° 13. 500 N 139° 33. 000 E とする。

8-3. 各マークのおおよその位置は以下の通りとする。

マーク A : 35° 14. 400 N 139° 30. 900 E

マーク B : 35° 14. 900 N 139° 29. 250 E

烏帽子岩沖マーク : 35° 16. 000 N 139° 26. 000 E

8-4. コース短縮の場合は、公式運営艇〔リビエラ旗掲揚〕が音響信号 2 声と共に S 旗を掲げ、その公式運営艇がブルー旗を掲げ、オレンジ旗を掲げたマストまたはポールと桃色 (ピンク) ・円筒形マークの間をフィニッシュ・ラインとする。

8-5. コース短縮する場合は、烏帽子岩沖マークのみとし、マーク A およびマーク B では行わない。

9. マーク

各マークの色と形状は以下の通りとする。

スタート / フィニッシュマーク : 黄色 (イエロー) に白帯・円筒形

マーク A : 黄色 (イエロー) ・円筒形

マーク B : 黄色 (イエロー) ・円筒形

烏帽子岩沖マーク : 黄色 (イエロー) に白帯・円筒形

10. 海上確認 (チェックイン) 【DP】【NP】

参加艇は、レース当日 10:15 までに L 旗を掲揚した公式運営艇後方から公式運営艇を右舷に見て機帆走で通過し、「セール番号またはリコール番号を掲示」し、「艇名、乗員数を告げ」、「ライフジャケット着用の確認を受ける」こと。

海上確認時に公式観覧艇 (カタマランヨット予定) が、公式運営艇の近くにて待機している場合があるので十分に注意すること。

11. スタート

11-1. RRS 26 に従って行ふ。

スタートは、最初にハピネスクラス、オープンクラス、SWAN クラスを一緒に、その後、IRC クラスの順で 2 回に分けて行われる。

11-2. スタート・ラインは公式運営艇〔リビエラ旗掲揚〕のオレンジ旗を掲揚したマストまたはポールとスタートマークの間とする。

11-3. スタート信号後 20 分以内にスタートしなかった艇は DNS と記録する。(RRS A4 及び A5 の変更) いる。

11-4. 予告信号が発せられていない艇は、他のクラスのスタート手順の間、スタートエリアを回避していなければならない。【DP】【NP】

12. スタートの延期

12-1. スタートを延期する場合は音響信号 2 声と共に AP 旗を掲揚する。

12-2. スタートを延期した場合の新たな予告信号は AP 旗降下（音響信号 1 声）の 1 分後に発せられる。

13. リコール

13-1. 個別にリコールがあった場合は音響信号 1 声と共に X 旗を掲揚する。

13-2. ゼネラル・リコールの場合は音響信号 2 声と共に第 1 代表旗を掲揚する。

13-3. ゼネラル・リコール後の新たな信号は第 1 代表旗降下（音響信号 1 声）の 1 分後に発せられる。

14. フィニッシュ

14-1. フィニッシュ・ラインは、ブルー旗を掲揚した公式運営艇〔リビエラ旗掲揚〕のオレンジ旗掲揚ポールとフィニッシュマークの間とする。

14-2. タイムリミットまでにフィニッシュしなかった艇は DNF と記録する。(規則 35 の変更)

15. ペナルティ方式

15-1. 帆走指示書に【DP】と記された項目は規則違反の対する失格に代わる罰則としてプロテスト委員会の裁量によりペナルティを失格より軽減することが出来ることを意味する。(RRS 序文 表記の項を参照)

15-2. RRS 第 2 章に関わる規則違反については 2 回転ペナルティが適用され、規則 31 に違反した艇は 1 回転ペナルティを適用する。

15-3. リコールに関わる規則違反については、OCS に代わる罰則として、5%タイム・ペナルティが適用される。(RRS A4 の変更)

15-4. RRS2 章以外の規則違反に対して、その違反事項が【DP】の記載がなくても、プロテスト委員会はその裁量において失格より軽減できる。

16. 抗議（救済の要求）

16-1. 抗議は RRS 61 に従って当該相手艇に自分の抗議の意思を『プロテスト』と声を掛けて、目立つように赤色旗を掲揚しなければならない。

16-2. そして、抗議の意思がある艇は、フィニッシュ時にその意思と当該相手艇名を公式運営艇に伝えなければならない。

16-3. 抗議（救済の要求）艇は、RRS 62 に従い、所定の抗議書に記入し、締切時間内にレース本部に提出すること。

16-4. 抗議の締切時刻は最終艇フィニッシュ後 60 分とする。

16-5. 抗議(救済の要求)書の提出は F A X に代えることができる。但し、審問の際に抗議書の原本を提出しなければならない。

16-6. 審問の開始時刻、場所は web 公式掲示板に掲示される。

16-7. レース委員会、プロテスト委員会、テクニカル委員会からの抗議は、抗議締切時刻内に公式掲示板に掲示される。(RRS61.1 の変更)

16-8. RRS41、及び 55 は【NP】である。

17. 順位の決定

17-1. ハピネスクラス、オープンクラス、SWAN クラスのレーティングはレース委員会が付与する。

- 17-2. ハピネスクラス、オープンクラス、SWAN クラスはレース委員会が付与した主催者独自のレーティングによりタイム・オン・タイム方式で修正結果を算出する。
- 17-3. IRC クラスはタイム・オン・タイム方式で修正結果を算出する。
- 17-4. 修正結果が同じ場合はレーティング数値の小さいほうの艇を上位とする。
- 17-5. 総合成績のレーティングは全艇にレース委員会が付与した主催者独自のレーティングによりタイム・オン・タイム方式で修正結果を算出する。

18. 運営艇

- 18-1. 公式運営艇には『RIVIERA CUP 旗』を掲揚する。
- 18-2. 公式運営艇は以下の艇種を用いる予定である。
 - 本部艇：ノーススター ブルーハル KC33
 - 運営艇：プロテクター グレー インフレータブルボート

19. ごみの処分

艇から出たごみは海上で投棄せず、自艇で所持し続け、持ち帰り、陸上で処分しなければならない。

【DP】【NP】

20. メディア、画像および音声

参加者は、陸上または海上でとられた、レースに関する写真、録音、録画、及びそれらの複製品を、無償で、主催者と大会スポンサーにその裁量で永久に作成、使用、公開する権利を自動的に与える。

21. 責任の否認

レース参加者は、自己の責任においてレースに参加するものとする。(RRS 基本規則 4 参照)。またレース参加者は、大会の前後ならびに期間中に生じた人身事故（死亡・傷害・行方不明等）および物的事故（沈没・盗難・損傷等）について、その責任を全て負うものとし、主催・後援・協賛・協力等の諸団体は如何なる責任も負わない。

22. レース本部

レース本部は逗子マリーナハーバーオフィス
TEL : 0467-24-1000 FAX : 0467-24-8596

以上